



イラスト提供: 宇宙航空研究開発機構

「かぐや」イメージ図



観測機器のひとつ、ハイビジョンカメラ

月探査周回衛星SELENE、「かぐや」と命名 打ち上げ日時は2007年8月16日9時30分48秒！！

月探査周回衛星SELENEが「かぐや」と命名されました。打ち上げ日時は2007年8月16日、9時30分48秒に決定いたしました。

打ち上げ時刻が秒単位で設定されているのは、月へ一番少ないエネルギーで行くためです。また、実際に月に向かうのは、打上後16日後、到着はその3日後となります。

「かぐや」は、月の極軌道に投入するため、月に向かう日時も重要となります。月の正面に向かって行かないと極軌道にならず傾斜し、その修正に大きなエネルギーを必要とします。

「かぐや」は15種類の観測機器を用いて、月全域の元素分布、鉱物分布、地形、表層構造、重力分布、磁場分布等について高精度な観測を行います。これらのデータを解析することにより月がどのような物質で構成されているか、月の内部構造、裏表の地質の違い、火山活動の歴史などが明らかにされていくものと思われます。

明星電気は「かぐや」に搭載される15種類の観測機器のうちハイビジョンカメラを含む8種類の観測機器の開発に加わり、月の起源と進化の解明のために多大な貢献をしています。



地上30kmからみた地球の映像

上空30kmからの地球の映像がテレビ放映されました！！

ゾンデで培われた高層観測技術を駆使して、成層圏、上空約30kmからの地球の映像を撮影する事が出来ました。この映像は6月5日、日本テレビ系列「ドリームビジョン」にて放映されました。動画としては世界で初めてであり、学術的にも貴重な映像です。

市販のビデオカメラを使用して撮影し、GPS機能により正確な位置情報を把握できたため、太平洋の海上に落下した機材を回収する事が出来ました。

明星電気は日本で唯一のゾンデメーカーあり、お客様のさまざまなニーズに合わせて、最適なシステムをご提案しています。



守衛室に設置された警報ユニット

QCAST® シリーズ導入事例のご紹介

— 日本無機株式会社様 —

明星電気は、半導体製造工場のエアフィルタやガラス繊維加工品などの製造を行っている日本無機株式会社結城工場(茨城県結城市)にQCAST®警報ユニットを納入しました。同工場の安全管理担当者が地震時の災害低減を目的として緊急地震速報に着目、機器制御に即活用できる点を評価し、導入を決めました。

QCAST®警報ユニットは、工場内の防災管理を行う守衛所の一角に設置され、工場内の燃料タンク(LPG)の緊急遮断弁を制御するシステムと接続され、震度5弱以上の地震が予測される場合には、緊急遮断弁が閉じられる仕組みです。合わせて、構内の放送設備により自動的に警報放送が放送され、従業員など工場内にいる人々の安全確保が図られています。

同社は日本板硝子グループ企業で、グループ企業を含めた事業所ごとの安全・環境保全評価制度において、先進的な防災技術を取り入れたことが高い評価を得ています。さらに、危険物を扱う事業所の責任として地域社会との共生するという面からも、緊急地震速報とQCAST®を他の燃料供給システムなどにも積極的に活用したいと、システム増強を計画しています。



工場内の緊急遮断弁

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。